

2005年2月期中間(3-8月)連結業績のご報告(その1)

## 売上高 1.3 倍、営業利益 2 倍、中間純利益 2.3 倍と過去最高を更新

- 前中間期に比べ、売上高は 1.3 倍、営業利益および経常利益は 2 倍、中間純利益は 2.3 倍となり、中間期業績としては売上高から中間純利益まで全て過去最高となりました。
- 無料求人情報誌『DOMO』の売上高は、前中間期に比べ 1.6 倍となり、昨年 6 月に創刊した『DOMO』名古屋版は、当初計画を 1 年前倒しし、今中間期で黒字に転じました。
- 期初予想を上回る利益が見込まれるため、来期予定していた『DOMO』首都圏版の週 2 回化を前倒して 11 月より実施することを決定しました。
- 通期の業績は、売上高が前期に比べ 23%増の 172 億円、営業利益が 12%増の 17 億 4 百万円、経常利益が 13%増の 17 億 1 千 1 百万円、当期純利益が 12%増の 9 億 8 千 3 百万円を見込んでいます。

### 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。2005年2月期中間(2004年3月1日から2004年8月31日まで)の業績をご報告するにあたり、ごあいさつ申し上げます。

企業収益の回復が設備投資需要につながり、あわせて人的需要の回復につながっています。このような景気回復期にあっても、アルバイト・パートタイマー・派遣社員・契約社員といった非正社員層を積極的に活用することで、機動的な経営を実践する動きはむしろ強まっています。その結果、求人広告市場は全体として増加基調にあり、非正社員系の求人広告が大きく増加しています。

こうした環境の中、当中間期の連結業績は、売上高が前年同期比 28%増の 83 億 8 百万円、営業利益が 105%増の 10 億 3 千 6 百万円、経常利益が 107%増の 10 億 3 千 9 百万円、中間純利益が 133%増の 5 億 9 千 3 百万円と、過去最高の業績となりました。

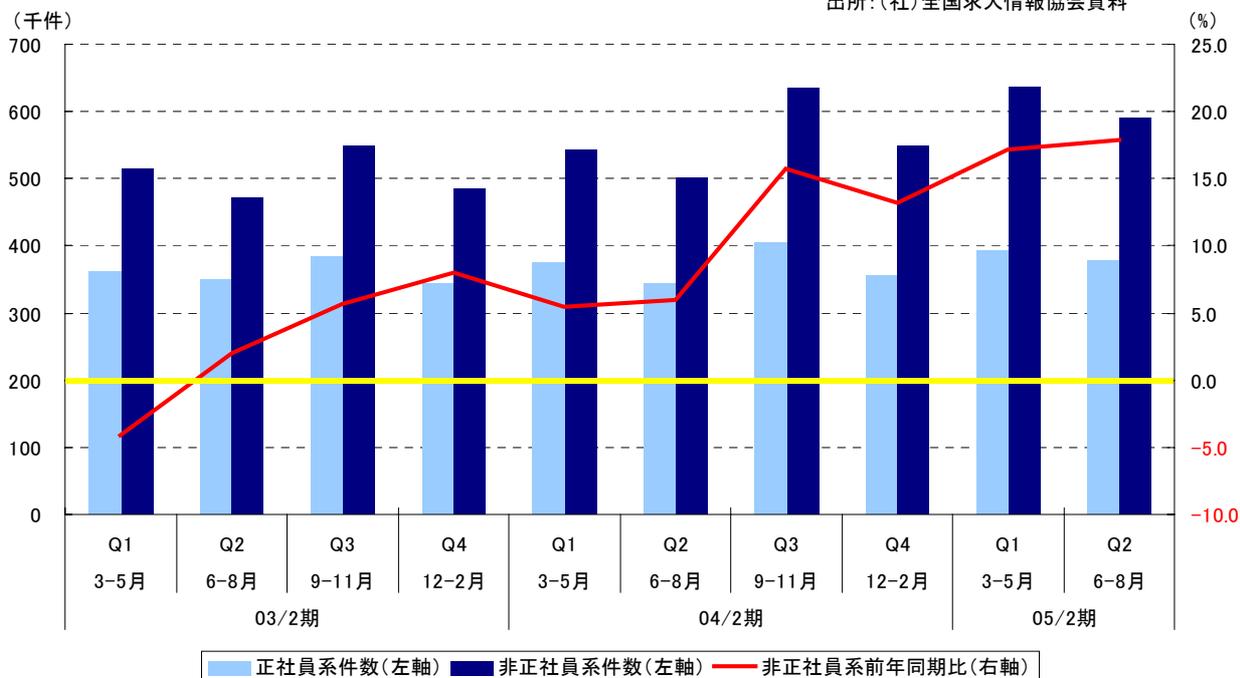
今後の業績見通しは、中間業績が示す通り、通期においても期初予想を上回る見通しとなりました。そのため、経営方針として掲げている通り、期初予想以上に利益の上積みが見込まれる場合は先行投資に充当させていただきます。具体的には、6 月に創刊した『DOMO』大阪版などのプロモーション費用の積み増しに加え、『DOMO』首都圏版の発行頻度を現在の週 1 回から週 2 回へ増やすことです。週 2 回化により約 5 億円の先行投資が新たに発生しますが、1,000 億円と推測される首都圏市場での成長をさらに加速させたいと考えています。この投資は来期に予定していた投資であるため、今期への前倒しによって、来期の本格的な投資回収をより確実なものにしたいと考えています。今後ともアルバイトタイムスにご期待ください。

2004年10月  
代表取締役社長  
鈴木 秀和

## 事業環境

全国の求人広告件数の推移

出所：(社)全国求人情報協会資料



企業収益および景況感の改善とともに人材需要が高まった結果、当中間期における求人広告は大幅に増加しました。これまで人的需要は景気に遅行する傾向にありましたが、規制緩和や景気回復を受け、人材派遣や業務請負など人材関連サービス業が業容を拡大しているため、人的需要と景気の連動性が強まっています。そのため、これまで以上に需要の見通しが難しくなっています。

## 連結業績

(百万円)

	05/2 期 中間		04/2 期 中間		前年同期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高	8,308	100.0%	6,507	100.0%	1,800	27.7%
営業利益	1,036	12.5%	504	7.8%	531	105.3%
経常利益	1,039	12.5%	502	7.7%	536	106.7%
中間純利益	593	7.1%	254	3.9%	338	132.9%
1株当たり中間純利益	¥52.71		¥45.52			

(注) 2004年2月29日現在の株主に対して1:2の株式分割を行っています。

主力商品である無料求人情報誌『DOMO』が好調に推移したため、当中間期の連結業績は期初予想を大きく上回りました。売上高は前年同期比28%増の83億8百万円となりました。利益率の高い情報関連事業の売上高

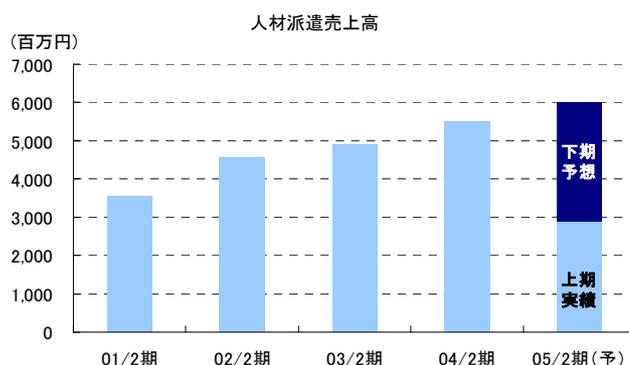
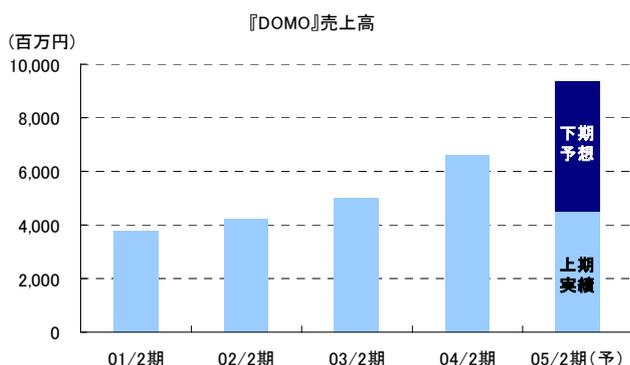
本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

が大きく増加したため、営業利益は105%増の10億3千6百万円、経常利益は107%増の10億3千9百万円、中間純利益は133%増の5億9千3百万円と大幅な増加となりました。

『DOMO』の売上高は前年同期比56%増の45億8百万円となりました。成長の牽引役である首都圏版が期初予想通り前年同期比75%増の14億4千7百万円と大幅に拡大したことに加え、期初予想では慎重に見ていた静岡3版が25%増の22億2千3百万円と好調に推移しました。また、ヨコハマ版は74%増の4億5千2百万円、名古屋版は16倍増の3億5千8百万円と期初予想通り大幅に伸び、6月に創刊した大阪版は2千5百万円と計画通りのスタートを切ることができました。

新たな事業展開として、9月より非正社員向け求人情報サイト『DOMO NET』を立ち上げました。無料誌とウェブサイトの双方を持つことで、より多くの読者・ユーザーを囲い込むことができ、クライアントに対してはワンストップのサービスを提供できるため、大きなシナジーを享受できると期待しています。

連結子会社ソシオが行う人材派遣事業は、前年同期比7%増の28億8千5百万円となりました。人材派遣市場は需要が回復していますが、一方で薄利多売による量的拡大競争はますます激しくなっています。同社はそういった競争とは一線を画し、安定的な成長を図っています。



## 今期の業績見通し

### 通期の連結業績見通し

(百万円)

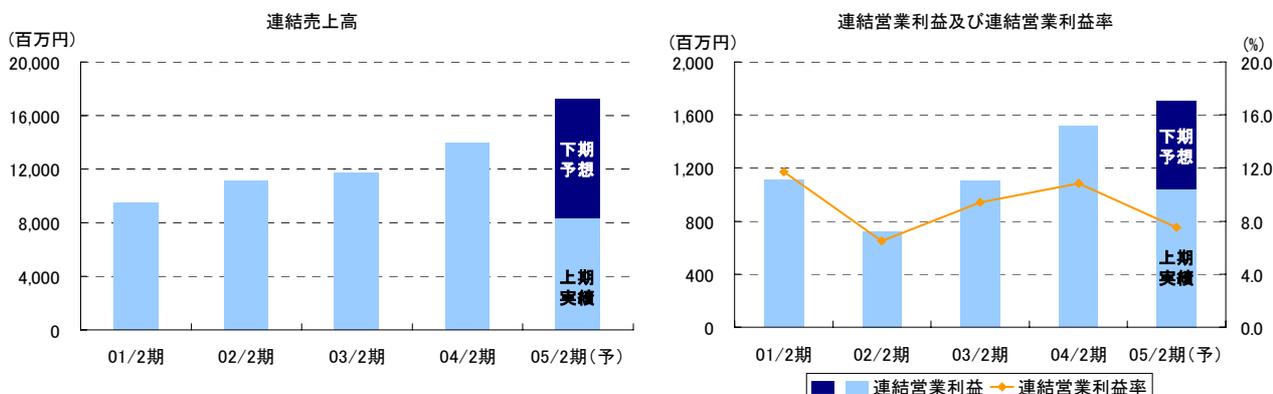
	05/2期(修正予想)		04/2期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高	17,200	100.0%	13,957	100.0%	3,243	23.2%
営業利益	1,704	9.9%	1,515	10.9%	188	12.4%
経常利益	1,711	9.9%	1,512	10.8%	198	13.1%
当期純利益	983	5.7%	881	6.3%	101	11.5%
1株当たり当期純利益	¥87.28		¥157.34			
1株当たり配当金	¥8.00		¥14.00			

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

(注) 2004年2月29日現在の株主に対して1:2の株式分割を行っています。

景気回復の基調に変化は見られないものの、原油価格の急騰など懸念すべき動きが目立ち始めています。人的投資も景況感に影響を受けるため、下半期の事業環境については慎重に見ています。

しかしながら、現在の事業環境は期初に予想していた状況より良好で、通期業績においても期初予想より大幅な利益の上積みが見込めるため、来期予定していた先行投資を前倒すことを決定しました。具体的には、『DOMO』首都圏版の発行頻度を週2回へ増やし、さらなる市場浸透を図ります。これにより、通期の利益の見通しは期初とほぼ変わらずとなりますが、来期に期待している本格的な投資回収をより確実なものにしていきたいと考えています。引き続き公表した業績見通しを確実に達成し、投資家のみなさまからの信頼を得たいと考えています。



### 第3四半期決算発表予定日のお知らせ

2005年2月期第3四半期(9-11月)の決算発表予定日は2004年12月下旬を予定しています。詳細については現時点では未定です。当社ホームページでは決算発表予定日などIR関連のスケジュールを掲載していますので、ぜひ一度アクセスしてください。

URL: <http://www.atimes.co.jp/corporate/index.html>

また、Eメールアドレスのみで登録が可能な「メールマガジン」ではホームページの更新情報やニュースリリースを無料でお届けしています。こちらもお合わせてご利用ください。

**お問合せ先**

株式会社アルバイトタイムス

総務部 IR担当

E-mail: [ir@atimes.co.jp](mailto:ir@atimes.co.jp)

TEL: 03-5202-2255 FAX: 03-5202-2300

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-1-14

日本橋加藤ビルディング

本資料に含まれる予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。